

1 本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

(1) 学校の現状や課題

○ 学校の現状

本校は、秋田東高等学校、秋田工業高等学校定時制課程、秋田中央高等学校定時制課程が統合して平成17年に新たに設立された定時制・通信制併設校である。生徒一人一人の学びに沿った学習スタイルの提供を通し、心豊かな人材を育成することを目標として教育活動を行っている。

定時制課程は、午前・午後・夜間の三部制、単位制、二学期制を特徴としている。

通信制課程は、公立高校としては県内唯一であり、一般社会人も受講できる科目履修講座など多様な学びのシステムを構築し提供している。また、不登校や引きこもり傾向にある小・中学生の学びの場、心の居場所として、フリースクールの空間「スペース・イオ」を設置している。

○ 課題

生徒たちは、自分に合った学び方を求めて本校を選択し、学びへの意欲を持ち通学しており、指導にあたり次のような点が課題として挙げられる。

- 1 基礎学力の定着
- 2 社会体験の機会提供
- 3 自己有用感、自尊感情の醸成
- 4 多様な学びのシステムの研究、開発

(2) 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校は、JR秋田駅に近く利便性に富んだ中心市街地にあり、秋田県教育・福祉複合施設「明德館ビル」の3階から7階までが校舎である。周辺には秋田市民の憩いの場である千秋公園があり、隣接する「エリアなかいち」には秋田県立美術館や秋田市にぎわい交流館AU（あう）があるなど、人々の活動の中心地となっている。生徒にとって豊かな自然と人々の活力あふれる学びの場である本校は、秋田を支える人材を育成するために多様な学びを提供し、生徒一人一人の将来を見据えた目標を実現することを担っている。また、地域に貢献する生徒であり学校であることが求められている。

(3) 目指す生徒像及び学校像

○ 目指す生徒像

- ・責任をもって行動できる生徒(自主自律)
- ・思いやりの心をもって行動できる生徒(心豊かに)
- ・地域や社会の一員の自覚をもって行動できる生徒(朗らかに)

○ 目指す学校像

生徒の自主性を尊重しつつ、多様な学びを提供しながら、秋田を支える自覚ある人材の育成を図る学校

(4) 5年間を通しての具体的目標

- 1 基礎学力の定着
- 2 キャリア教育の充実と進路実現
- 3 社会性・規範意識の育成
- 4 教育機能、支援体制の充実

2 具体的な取組等

<定時制課程>

- 1 重点目標 基礎学力の定着
到達目標 自ら学び、個性と能力を伸ばそうとする生徒
具体的な取組 ○個に応じた指導の充実
 - ・少人数学習、習熟度別学習の実施
 - ・履修科目登録における生徒のニーズの見極めと適切な指導○学ぶ意欲の育成
 - ・学習意欲をかき立てる授業の実施
 - ・学習課題の内容の充実
 - ・個別欠課時数票の配付と活用○組織による授業改善
 - ・生徒による授業アンケートの実施
 - ・校内授業研究会、互見授業等の充実
- 2 重点目標 キャリア教育の充実と進路実現
到達目標 自らと向き合い、進路実現に向けて積極的に取り組もうとする生徒
具体的な取組 ○進路意識の高揚
 - ・「進路の手引」の作成と活用
 - ・進路ガイダンス、進学・就職報告会の実施
 - ・進路情報の精選と活用
 - ・インターンシップの充実○就職、進学指導の充実
 - ・個別指導の充実
 - ・資格取得の奨励
 - ・新規企業開拓の実施
 - ・就職支援講座の実施
 - ・外部機関等との連携
- 3 重点目標 社会性・規範意識の育成
到達目標 自らを信じ、挨拶や対話を通して他者と良好な人間関係を築いていこうとする生徒
具体的な取組 ○態度や言動等に関する指導の実施
 - ・挨拶、整容、コミュニケーションスキル等の指導、育成
 - ・保護者との連携による指導○思いやりや責任感、自己有用感の醸成
 - ・学校行事、特別活動を通じた指導
 - ・ボランティア活動の充実
 - ・地域との連携○部活動と生徒会活動の活性化
 - ・部活動加入の奨励
- 4 重点目標 教育機能、支援体制の充実
到達目標 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動
具体的な取組 ○特別支援教育体制、通級指導教室の充実
 - ・支援が必要な生徒に関する情報の共有と支援の充実○教育相談体制の充実
 - ・外部機関、SC、SSW等関係職員との連携

- 健康、安全教育の充実
- ICT機器の活用
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり、教育環境の整備等
- 職員研修の実施
 - ・教職員間の意識の共有、スキルの向上
 - ・外部機関等との連携
- 学校情報の発信
 - ・学校説明会、体験入学、ウェブサイトの活用

<通信制課程>

- | | | |
|---|------------------------|--|
| 1 | 重点目標
到達目標
具体的な取組 | 自律的に学ぶ生徒の育成
受講継続率90%
・出席状況・レポート提出の自己管理支援
・校内相互授業参観
・レポート提出期限遵守の徹底
・教育課程作成研修会の充実と受講登録指導の充実
・「学びなおし講座」の充実
・個別指導の充実（提出日の教科担当常駐） |
| 2 | 重点目標
到達目標
具体的な取組 | 進路意識の育成
卒業時進路決定率60%
・進路の手引き作成、進路通信の発行、進路講座・進路講話の実施
・外部講座参加の励行、資格取得の奨励
・外部機関（職業安定所、就職活動支援センター等）や職場定着支援員との連携
・進学希望者対象特別講座、模擬試験、個別指導の実施 |
| 3 | 重点目標
到達目標
具体的な取組 | 命と健康を大切にし人を思いやる心の育成
社会性・規範意識の育成
安全で事故のない生活を送ることができる生徒
・日常の健康状態の把握と各種健診の実施
・カウンセリングの効果的な利用と教職員研修
・命を大切にする講座、薬物乱用防止講座を通じた指導
・挨拶、容儀指導、巡視等
・職員の共通理解と協力体制の構築 |
| 4 | 重点目標
到達目標
具体的な取組 | 教育機能、支援体制の充実
全教科ICT活用学習の実施
・スクーリングでのICT活用
・レポート指導におけるICT活用
・一斉配信メール、学校ホームページの改善 |
| 5 | 重点目標
到達目標
具体的な取組 | 不登校状況の改善（スペース・イオ）
通所・IT学習・登校日数 110日
ステップアップ率82%
・ステップアッププログラムの充実と指導力の向上
・在籍校、関係機関との連携及び確実な情報の周知
・保護者支援
・スペース・イオの教育実践への理解を深める広報活動 |

秋田県立秋田明德館高等学校 定時制課程 中期ビジョン (R3.4)

重点目標 到達目標

具体的な取組 R3~R7

基礎学力の定着

自ら学び、個性と能力を伸ばそうとする生徒

- 個に応じた指導の充実
少人数学習、習熟度別学習の実施 履修科目登録における生徒のニーズの見極めと適切な指導
- 学ぶ意欲の育成
学習意欲をかき立てる授業の実施 学習課題の内容の充実 個別欠課時数票の配付と活用
- 組織による授業改善
生徒による授業アンケートの実施 校内授業研究会、互見授業等の充実

キャリア教育の充実と進路実現

自らと向き合い、進路実現に向けて積極的に取り組もうとする生徒

- 進路意識の高揚
「進路の手引」の作成と活用
進路ガイダンス、進学・就職報告会の実施
進路情報の精選と活用 インターンシップの充実
- 就職、進学指導の充実
個別指導の充実 資格取得の奨励 新規企業開拓の実施
就職支援講座の実施 外部機関等との連携

社会性・規範意識の育成

自らを信じ、挨拶や対話を通して他者と良好な人間関係を築いていこうとする生徒

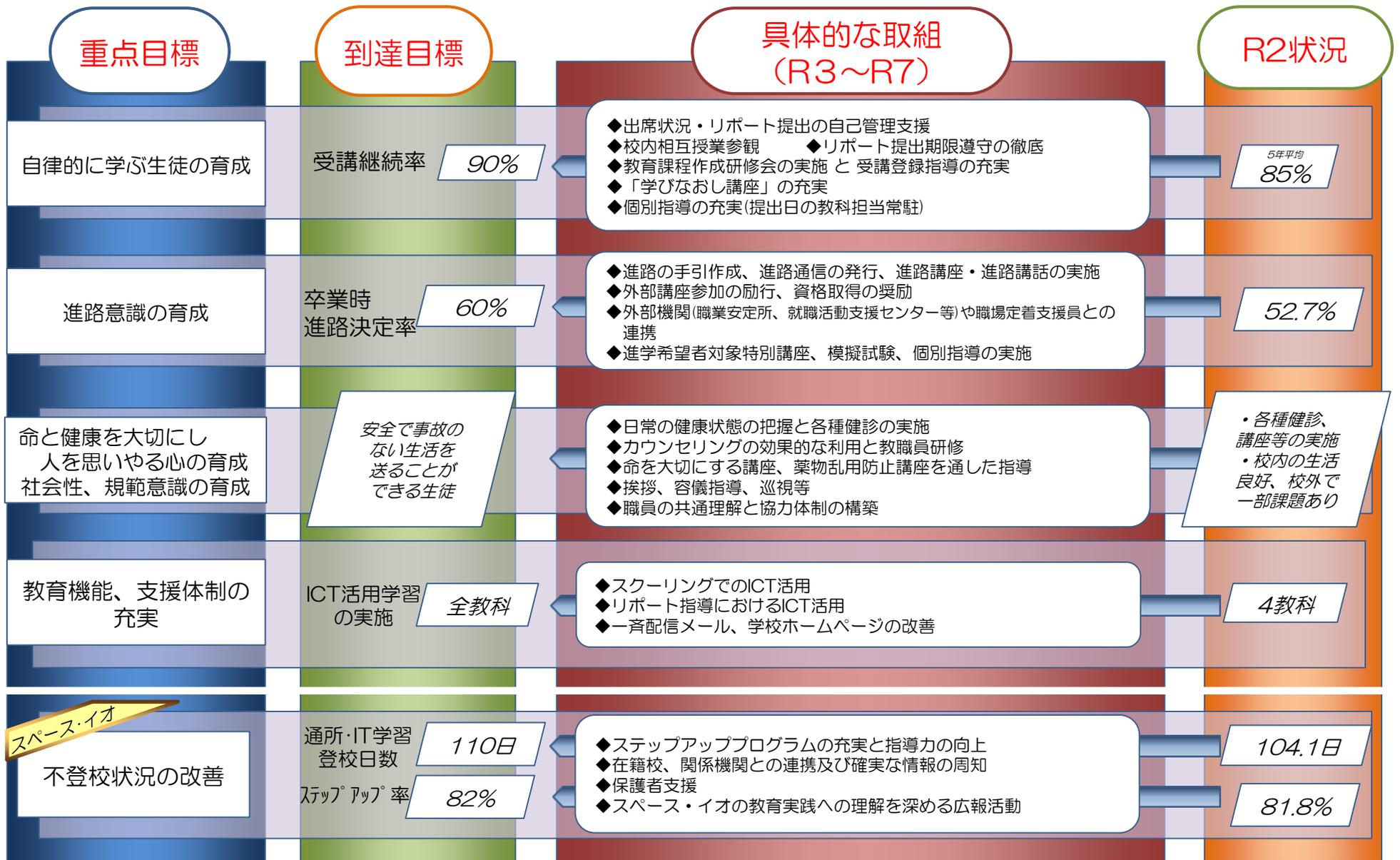
- 態度や言動等に関する指導の実施
挨拶、整容、コミュニケーションスキル等の指導、育成
保護者との連携による指導
- 思いやりや責任感、自己有用感の醸成
学校行事、特別活動を通じた指導 ボランティア活動の充実
地域との連携
- 部活動と生徒会活動の活性化
部活動加入の奨励

教育機能、支援体制の充実

特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動

- 特別支援教育体制、通級指導教室の充実
支援が必要な生徒に関する情報の共有と支援の充実
- 教育相談体制の充実
外部機関、SC、SSW等関係職員との連携
- 健康、安全教育の充実
- ICT機器の活用
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり、教育環境の整備等
- 職員研修の実施
教職員間の意識の共有、スキルの向上 外部機関等との連携
- 学校情報の発信
学校説明会、体験入学、ウェブサイトの活用

秋田県立秋田明德館高等学校 通信制課程 中期ビジョン



◆「受講継続率」= 1 - 全科目受講停止者 / 受講登録者
 ◆「卒業時進路決定率」= 卒業後の動向が決定している者(就職・進学決定、就職継続、自宅療養等) / 卒業者
 ◆「ステップアップ率」= ステップアップを確認した者 / 入所者